

現代における暗号への要請

現在の情報化社会では

様々な場面で暗号が使われている

例：インターネット取引（ネットショッピングなど）

- 不特定多数の人と暗号通信をしたい
- 事前に鍵を共有できない

→ 共通鍵暗号では実現が困難

→ 公開鍵暗号・鍵共有方式のアイデア

(1976 ~ 77)

公開鍵暗号

暗号化鍵 (公開鍵) ・ 復号鍵 (秘密鍵) が別

- 事前の鍵共有の必要無し
→ 見ず知らずの人からも送ってもらえる
- 認証 ・ 署名機能がある
 - 改竄 ・ なり済ましの対策
 - 否認防止の機能も持つ

公開鍵暗号

但し、一般には、
暗号化・復号が共通鍵暗号に比べて低速

そこで、

- 始めに公開鍵暗号方式で鍵を送付・共有
- その鍵を用いて秘密鍵暗号方式で通信

というように、組合わせて用いることが多い

公開鍵暗号の特徴

- 暗号化は誰でも出来る
- 復号は秘密鍵を知らないと出来ない
(もの凄く時間が掛かる)

そんな都合の良い仕組みが本当にあるのか？

→ ある!! (多分大丈夫)

計算困難な問題 を利用 (素因数分解・離散対数問題)

代表的な公開鍵暗号方式

- **RSA 暗号 (Rivest-Shamir-Adleman)**
- **Diffie-Hellman 鍵共有**
- **ElGamal 暗号**

公開鍵暗号の例: RSA 暗号

Rivest, Shamir, Adleman (1977)

- 大きな素数 p, q を選び、積 $N = pq$ を作る
- N を用いて、公開鍵 e ・ 秘密鍵 d の対を作る
- 暗号化の計算は N と公開鍵 e とから可能
- 復号は秘密鍵 d を用いる
- N と公開鍵 e とから秘密鍵 d を求めるには、 N の素因子分解 $N = pq$ が必要
- しかしそれは困難 (膨大な計算時間が掛かる)

RSA 暗号 (Rivest-Shamir-Adleman)

p, q : 相異なる大きな素数 (実際には 1024 bit 以上)

$N := pq$: RSA 方式の法 (**modulus**)

$m := \text{lcm}(p - 1, q - 1)$

$\text{gcd}(e, m) = 1$ となる整数 e をランダムに選ぶ

$ed \equiv 1 \pmod{m}$ となる整数 d を求める

- (N, e) : **暗号化鍵** (encryption key)
→ **公開鍵** (public key)
- d : **復号鍵** (decryption key)
→ **秘密鍵** (secret key, private key)

RSA 暗号 (Rivest-Shamir-Adleman)

p, q : 相異なる大きな素数

$N = pq$, $m = \text{lcm}(p - 1, q - 1)$, $ed \equiv 1 \pmod{m}$

- (N, e) : 公開鍵 (暗号化鍵)
- d : 秘密鍵 (復号鍵)

平文・暗号文は $0, 1, \dots, N - 1$ に符号化
($\text{mod} N$ で考える)

平文 M の暗号化 : $C = E(M) \equiv M^e \pmod{N}$

暗号文 C の復号 : $M = D(C) \equiv C^d \pmod{N}$

RSA 暗号 (Rivest-Shamir-Adleman)

p, q : 相異なる大きな素数

$$N = pq, m = \text{lcm}(p - 1, q - 1), ed \equiv 1 \pmod{m}$$

平文 M の暗号化 : $C = E(M) \equiv M^e \pmod{N}$

暗号文 C の復号 : $M = D(C) \equiv C^d \pmod{N}$

元に戻るのか ($D(E(M)) = M$ か) ?

→ 以下、暫く板書で

初等整数論の準備

- $(a, b) = 1$ のとき、 $a|bc \implies a|c$
- 特に p : 素数のとき、
 $p|ab \implies (p|a \text{ または } p|b)$
- $(m, n) = 1$ のとき、
 $a \equiv b \pmod{mn}$
 $\iff a \equiv b \pmod{m}, a \equiv b \pmod{n}$

Fermat の小定理

p : 素数のとき、

- $(a, p) = 1$ なる $a \in \mathbb{Z}$ に対し、

$$a^{p-1} \equiv 1 \pmod{p}$$

- 同じことだが、任意の $a \in \mathbb{Z}$ に対し、

$$a^p \equiv a \pmod{p}$$